

公共事業事前評価調書(平成 25年度予算要望)

所管課: 港湾課

担当班: 計画調査班

事業名	小浜港港湾整備事業		事業区分	港湾事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	竹富町小浜					
事業の諸元	波除堤 210m、船揚場 50m、泊地(-3.0m) 17,700m ³					
事業の概要	<p>小浜港は、石垣島の西約18kmに位置する小浜島の北東側に位置し、石垣港との間に定期旅客船が多数運航しているほか、定期貨客船や地元の小型船等が利用している。</p> <p>近年、ダイビング船やレジャー船の増加、船舶の大型化に伴い、船揚場が不足している。また、地元利用者によると荒天時には港口から入射した波が、既設船揚場、待合所へ遡上することとなり、利便性と安全性が確保されていない状況である。</p> <p>さらに、港内は泊地が狭く、定期旅客船の入出港に支障を来している状況であることから、これらの課題を解決するために、波除堤、船揚場および泊地の整備を行う。</p>					
事業の必要性・効果等	<p>《必要性》</p> <p>小浜港は、船揚場が不足していることから、臨港道路等に船舶を係留している状況があり、また荒天時には港口から入射した波が、船揚場や待合所へ遡上している状況がある。さらに3社の定期船が就航しているが、船舶規格によっては回頭に必要な範囲が確保されておらず、入港が困難な状況がある。</p> <p>小浜島には大型リゾート施設も立地しているなど、年間を通じて多くの観光客が訪れることから、これらの課題解消は地域振興のためにも重要である。</p> <p>《効果》</p> <p>・船揚場の整備を行うことで、係留施設外への係留が無くなり、適切な利用が図られ、また波除堤の整備を行うことで、港内静穏度が向上し、係留や荷役作業の効率化、利用者の安全性向上を図ることができる。さらに泊地浚渫を行うことで、就航している定期船等の利便性、安全性の向上を図ることができる。</p>					
事業期間	事業採択	平成 25年度	完了(予定)	平成 27年度		
全体事業費	8.2	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率	9/10
費用対効果	B/C	総便益: B	(億円)	総費用: C	(億円)	基準年
	=	①旅客の時間削減 11.4億円 ②船舶避難時間削減 0.5億円		①事業費 7.3億円	平成23年	
事業着手の熟度・上位計画との整合性	沖縄21世紀ビジョン基本計画において位置付けがある。					
環境への配慮	港内における埋立、浚渫等に伴う赤土等の流出防止対策等を十分に行い、実施にあたっては影響が軽微となるよう努める。					
関係する地方公共団体等の意見	地元、竹富町から船揚場の整備、泊地の浚渫について、要望がある。					
概要図(位置図)						